



◆学校教育目標 **心豊かに 人とつながり 創り出す** —自立と共生— ◆

第4回学校運営協議会での話し合いの様子



○ 第4回の学校運営協議会の熟議では、

- 1 学校関係者評価
- 2 来年度の学校運営の基本方針について
- 3 学校運営協議会の自己評価
- 4 夢育やらまいか事業CS加算分の報告

の4件について話し合ったり、ご意見をいただいたりしました。学校関係者評価については、先日の学校便り特別号においてお知らせさせていただきました。それについて運営協議会委員の方々からは「学習に関して学校側が取り組んでいることは信頼している。」「いじめ対応に熱心に取り組んでいる様子が見られる。今後も継続してほしい。」「ボランティアに協力していく仕組みづくりをして、積極的に活動していきたい。」等のありがたいご意見をいただきました。

一方で、「子供たちが目標を立てて学習に取り組めるように支援してほしい。」というご意見もいただきました。そこで学校としては、今年度の活動で良かった点は引き続き継続して指導・支援していく一方、今後は単元ごとに明確な学習計画を示したり、立てた目標を可視化したりして、常に意識できるような働きかけをしていくことを確認しました。

また、来年度の学校運営の基本方針について校長が説明を行い、承認をいただきました。来年度につながる有意義な熟議ができました。



新たな取り組みができました

CS通信第1号でお伝えしたように、学校支援コーディネーターに協力を依頼して、子供たちは新しい学習や体験に取り組むことができました。

① 12月8日（金）

音楽科 「日本の音楽に親しもう」（5、6年生）

日本の古典的な音楽についての学習では、これまではCDや映像などで鑑賞をしてきました。しかし、今回は目の前で生の演奏を聴く機会に恵まれました。それだけではなく、雅楽の歴史について説明していただいたり、たくさんの楽器に触れさせていただいたりして、子供たちにとって雅楽がぐっと身近になる体験ができました。



② 1月16日（火）

6年生社会科 「戦争の体験談を聞こう」

6年生の社会科では「長く続いた戦争と人々の暮らし」という単元があります。その中で戦時中の生活について学ぶのですが、教科書やインターネットだけでなく、実際に体験した方や詳しい方にお話を聞く機会が欲しいとずっと感じていました。今回、ようやく実現しました。



授業では、艦砲射撃や浜松大空襲など、戦争の被害の様子を映像で見せていただいたり、体験談を話していただいたりしました。「戦死した父親が亡くなる前に残してくれた手紙」のような、教科書には載っていないお話を聞くことができ、子供たちは「戦争は絶対にしてはいけない」と、思いを強めることができました。

どちらも非常に有意義な活動となりました。来年度以降もさらに広げていきたいと考えています。